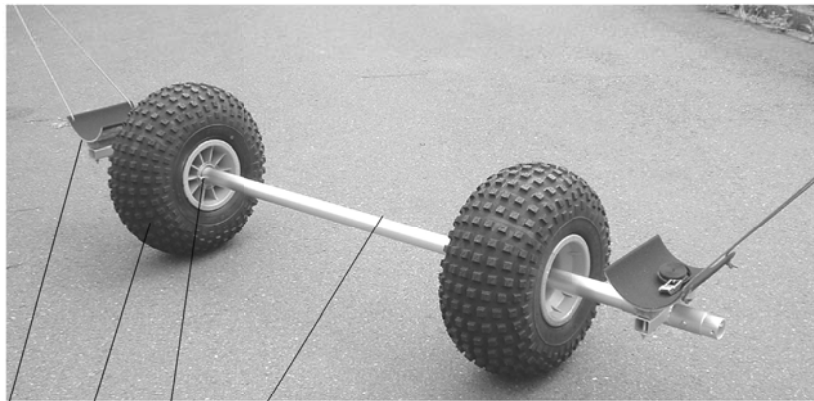


L755G カタラントーリ50φ16Ft用 Gタイヤ L754G ウェイブ他 Gタイヤ 組図

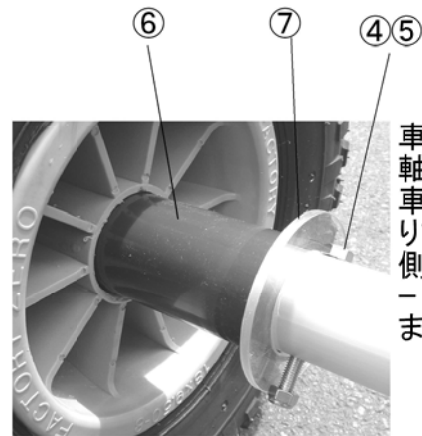
図番	品番	品名	適応	使用数量	税別価格/1個
1	L755-100	ホビ-16ト-リ-車軸50φX2380mm	ホビ-16専用	1	18,000 +税
1	L754-100	ウェイブト-リ-車軸50φX2010mm	ウェイブ専用	1	18,000 +税
2	L755-104	カタラン用 船台受けセット	1台に2個必要	2	13,000 +税
3	TA30G-G	TA30G Gタイヤ 50φ カタラン用 ホス加工	カタラン専用タイヤ	2	19,600 +税
4	P04-8-70	SUS六角ボルト8-70		6	100 +税
5	P15-08	SUSナイロンナットM8		6	100 +税
6	L755-102	カタラン用エンビ車軸カラー-60φx51φx120mm	タイヤ車軸用カラー	2	300 +税
7	L755-101	カタラン用タイヤワッシャー エンビ90φx52φx5t	タイヤ止め用W	4	1,500 +税
8	JL408	カタラント-リ-用ロープ5φ~6φx2.0M	受け用、固定用	3	800 +税
9	JL3500-16	ラッシングベルトカムタイプ25mmx2.3M黒	固定用	1	1,200 +税



全体写真です、タイヤ、受け、と組み込みます、下図のタイヤ組み込み、受け組み込み、参照下さい。

② ③ ④⑤ ①

受け部固定



車輪固定(車軸部にはエンビ車軸カラーが入ります、内、外側にタイヤワッシャー-エンビが付きまます)



受け部の穴にロープ(2M)を通しノットを作り止めます
このロープを持ってランチャーを立たせ艇を載せていきます。



両側の受けの固定したロープにもう1本の延長ロープ(同じ2M)を取り付けラッシングベルトをロープに回して艇体を固定して運びます。
艇は重心が受けに来るように艇に印をつけておくと載せやすくなります。

⑨

⑧

(有)ファクトリーゼロ

TEL 046-238-9411
FAX 046-238-9422

タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。
当社エアータイヤにつきまして下記のことに注意してご使用下さい。

TA30F / TA30G / TA30J (F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ) (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チューブレスタイヤです、チューブは入っていません。
- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず 0.8KG 以下でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとタイヤの内圧が下がりチューブレスタイヤの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々チェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置しますとタイヤがヒビ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にブロック等を入れておくと良いでしょう。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

TA30A(A タイヤ) (アルミランチャー、トランスムドーリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用タイヤ(外側) チューブ、別途販売しています、適宜交換下さい。

TA30D(D タイヤ) (マルチドーリー、Z071 前輪、等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0KG~1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります、ベアリング部にはグリス等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ベアリング分は良く水洗して下さい。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品ございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合がソリスタント等においてある自動車、バイク用、空気入れで入れられます一般用自転車用空気入れではバルブ形状が合いません、詳しくはHPご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1